

文化芸術における創造的活動の研究

造形短期大学部
造形芸術学科
講師

石崎 幸



研究シーズの紹介

本研究は、身体表現との親和性を元にデザインとアートの分野を横断し、アフターコロナの文化芸術に新しいコラボレーションの方法論を提案することで、文化芸術活動を再活性化の支援となることを目的に、バレエの舞台芸術を創り上げたものがある。

従来、舞台装置として使われてきた写実的な背景幕は使わ

ず、単純な幾何学的形態とその展開を彫刻と映像の力を使って表現し、また、舞台芸術の制作プロセスにおける効率性も含め、新しい舞台装置とその展開を提案した。

この研究は、YOUTH DREAM SUPPORT PROJECT 夢 vol.4 「Voyage De Tchaikovsky 《チャイコフスキーの旅》」と題された舞台で発表された。



デザインとアートの コラボレーション

- 人も入るようなサイズの正八面体の彫刻の装置は、分解が可能。
- 持ち運ぶことが出来、組合せも自在な為、様々な演出に対応可能。



期待される活用シーン

- 劇場の外でも舞台を演出したい。



劇場以外でも使用可能な装置の為、屋外での演出にも適応出来、コロナ禍に対応している。

その他の研究テーマ

- ・ システマティック・タイポグラフィについての研究
- ・ 景観の中におけるサイン - 色彩における調査 -